

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月11日

【四半期会計期間】 第83期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 株式会社佐藤渡辺

【英訳名】 WATANABE SATO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 渡 邊 忠 泰

【本店の所在の場所】 東京都港区南麻布一丁目18番4号

【電話番号】 03(3453)7351 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 丹 波 弘 至

【最寄りの連絡場所】 東京都港区南麻布一丁目18番4号

【電話番号】 03(3453)7351 (代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員経理部長 丹 波 弘 至

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第82期 第2四半期 連結累計期間	第83期 第2四半期 連結累計期間	第82期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	15,957,558	14,037,732	40,630,163
経常利益 (千円)	344,700	133,330	1,759,153
四半期(当期)純利益 (千円)	290,688	43,155	1,623,730
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	265,244	146,095	1,752,064
純資産額 (千円)	7,110,061	8,610,957	8,596,753
総資産額 (千円)	25,274,018	25,156,585	28,924,111
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	18.22	2.70	101.75
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	28.00	34.10	29.60
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	2,400,645	1,437,690	2,171,359
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	257,709	143,214	497,721
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,447,670	358,881	1,495,473
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,358,241	4,779,184	3,846,702

回次	第82期 第2四半期 連結会計期間	第83期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	25.99	10.12

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

第1四半期連結会計期間において、連結子会社でありました大連佐東奥瀝青有限公司は、当社持分の譲渡契約を締結したため、同社を連結の範囲から除外しております。

この結果、平成25年9月30日現在では、当社グループは、当社、連結子会社4社及び持分法適用会社2社により構成されることとなりました。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、政府による財政出動の拡大を背景に、円安・株価上昇が続く、企業収益は着実に回復してきております。

この間、道路建設業界におきましては、復興事業や緊急経済対策の効果から公共事業の増加が見られたほか、物流・商業施設の民間工事の増加も見られ、総じて堅調に推移いたしました。一方では、人手不足による労務費の上昇や、円安による重油・アスファルト価格の上昇など、コストアップによる懸念材料もあり、依然として先行きの不透明な経営環境が続いております。

このような状況下、当社グループでは、受注量の確保に努めるとともに、安全の確保、工程管理の強化、並びに採算性の管理に努めてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は238億5百万円（前年同期比26.9%増）、売上高は140億3千7百万円（前年同期比12.0%減）となりました。利益につきましては、経常利益が1億3千3百万円（前年同期比61.3%減）、四半期純利益が4千3百万円（前年同期比85.2%減）となりました。

事業の部門別の業績は、次のとおりであります。

（工事部門）

工事受注高は215億7千7百万円、完成工事高は118億9百万円、完成工事総利益は7億7千6百万円となりました。

（製品等販売部門）

製品等受注高、売上高は22億2千8百万円、製品等売上総利益は2億円となりました。

当社グループの売上高は、通常の営業形態として、第4四半期連結会計期間に完成する工事の割合が著しく多くなるといった季節的変動があります。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ37億6千7百万円減少して251億5千6百万円となりました。これは主に現金預金、未成工事支出金等は増加したものの、受取手形・完成工事未収入金等が減少したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ37億8千1百万円減少して165億4千5百万円となりました。これは主に支払手形・工事未払金等及び未払法人税等が減少したことなどによります。

純資産合計は、主にその他有価証券評価差額金が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ1千4百万円増加して86億1千万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末の38億4千6百万円に比べて9億3千2百万円増加して47億7千9百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金は、14億3千7百万円の収入（前年同期は24億円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益1億円、売上債権の減少額75億6千万円、たな卸資産の増加額12億8千2百万円、仕入債務の減少額37億7千2百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金は、1億4千3百万円の支出（前年同期は2億5千7百万円の支出）となりました。これは主に有形固定資産の取得等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金は、3億5千8百万円の支出（前年同期は14億4千7百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済と配当金の支払等によるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は18百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	15,978,500	15,978,500	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は、1,000株 であります。
計	15,978,500	15,978,500		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年7月1日～ 平成25年9月30日		15,978,500		1,751,500		600,000

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
渡 邊 忠 泰	東京都港区	1,951	12.21
有限会社創翔	東京都港区南麻布1 - 22 - 6 創翔館201号	1,656	10.36
東亜道路工業株式会社	東京都港区六本木7 - 3 - 7	1,206	7.55
株式会社アスカ	東京都港区六本木3 - 4 - 33	980	6.13
宇部興産株式会社	山口県宇部市大字小串1978 - 96	805	5.04
佐藤渡辺従業員持株会	東京都港区南麻布1 - 18 - 4	600	3.76
常盤工業株式会社	東京都千代田区九段北4 - 2 - 38	525	3.29
カブドットコム証券株式会社	東京都千代田区大手町1 - 3 - 2	459	2.87
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内1 - 3 - 3	343	2.15
佐藤鉄工株式会社	富山県中新川郡立山町鉾木 220	283	1.77
計		8,808	55.13

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 22,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 15,932,000	15,932	
単元未満株式	普通株式 24,500		
発行済株式総数	15,978,500		
総株主の議決権		15,932	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権3個)含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式188株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社佐藤渡辺	東京都港区南麻布 1-18-4	22,000		22,000	0.14
計		22,000		22,000	0.14

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、太陽A S G有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	3,846,702	4,779,184
受取手形・完成工事未収入金等	13,617,244	6,789,858
未成工事支出金	935,571	2,195,773
その他のたな卸資産	¹ 232,521	¹ 244,983
繰延税金資産	293,579	295,732
その他	241,020	548,666
貸倒引当金	174,566	127,949
流動資産合計	18,992,073	14,726,248
固定資産		
有形固定資産		
土地	5,990,075	5,990,075
その他(純額)	2,194,119	2,586,432
有形固定資産合計	8,184,195	8,576,508
無形固定資産	39,556	35,034
投資その他の資産		
投資有価証券	1,163,784	1,324,017
長期貸付金	66,545	71,572
破産更生債権等	206,599	211,301
繰延税金資産	355,856	304,802
その他	121,046	119,552
貸倒引当金	205,884	212,450
投資その他の資産合計	1,707,948	1,818,795
固定資産合計	9,931,700	10,430,337
繰延資産	337	-
資産合計	28,924,111	25,156,585

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	10,022,248	6,343,096
短期借入金	3,600,000	3,550,000
1年内償還予定の社債	50,000	-
1年内返済予定の長期借入金	194,788	120,468
未払法人税等	741,362	67,610
未成工事受入金	587,619	1,322,692
賞与引当金	409,154	238,250
完成工事補償引当金	23,506	22,111
工事損失引当金	55,400	67,300
その他	786,656	1,010,180
流動負債合計	16,470,736	12,741,709
固定負債		
長期借入金	124,907	77,349
再評価に係る繰延税金負債	1,031,379	1,031,379
退職給付引当金	2,562,749	2,557,684
その他	137,585	137,505
固定負債合計	3,856,622	3,803,917
負債合計	20,327,358	16,545,627
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,751,500	1,751,500
資本剰余金	869,602	869,602
利益剰余金	4,208,650	4,120,517
自己株式	3,867	4,100
株主資本合計	6,825,886	6,737,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	197,625	290,788
土地再評価差額金	1,553,202	1,553,202
為替換算調整勘定	14,269	3,909
その他の包括利益累計額合計	1,736,557	1,840,080
少数株主持分	34,309	33,357
純資産合計	8,596,753	8,610,957
負債純資産合計	28,924,111	25,156,585

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	² 15,957,558	² 14,037,732
売上原価	14,687,304	13,061,290
売上総利益	1,270,253	976,441
販売費及び一般管理費	¹ 913,084	¹ 906,001
営業利益	357,168	70,439
営業外収益		
受取利息	3,627	3,896
受取配当金	8,420	10,958
持分法による投資利益	22,329	25,588
貸倒引当金戻入額	-	40,050
雑収入	8,385	17,588
営業外収益合計	42,763	98,083
営業外費用		
支払利息	49,870	33,415
雑支出	5,361	1,777
営業外費用合計	55,231	35,193
経常利益	344,700	133,330
特別利益		
固定資産売却益	2,755	2,147
受取補償金	7,429	-
不動産売買契約違約金	4,353	5,616
負ののれん発生益	5,601	-
特別利益合計	20,140	7,763
特別損失		
固定資産除却損	6,095	40,370
投資有価証券評価損	16,860	-
特別損失合計	22,955	40,370
税金等調整前四半期純利益	341,885	100,724
法人税等	49,007	54,519
少数株主損益調整前四半期純利益	292,878	46,204
少数株主利益	2,189	3,049
四半期純利益	290,688	43,155

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	292,878	46,204
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31,608	92,902
為替換算調整勘定	344	1,300
持分法適用会社に対する持分相当額	3,629	5,687
その他の包括利益合計	27,633	99,890
四半期包括利益	265,244	146,095
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	262,817	143,046
少数株主に係る四半期包括利益	2,427	3,049

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	341,885	100,724
減価償却費	168,074	208,134
貸倒引当金の増減額(は減少)	22,549	40,050
その他の引当金の増減額(は減少)	141,716	165,465
受取利息及び受取配当金	12,048	14,855
支払利息	49,870	33,415
持分法による投資損益(は益)	22,329	25,588
その他の営業外損益(は益)	3,024	15,810
有形固定資産売却損益(は益)	2,755	2,147
有形固定資産除却損	6,095	40,370
その他の特別損益(は益)	525	5,616
売上債権の増減額(は増加)	6,462,668	7,560,726
たな卸資産の増減額(は増加)	1,141,252	1,282,648
仕入債務の増減額(は減少)	3,052,887	3,772,157
未払消費税等の増減額(は減少)	83,227	185,947
小計	2,591,376	2,433,082
利息及び配当金の受取額	12,048	14,855
利息の支払額	47,204	33,396
法人税等の支払額	55,157	723,398
その他	100,416	253,452
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,400,645	1,437,690
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	256,507	194,432
有形固定資産の売却による収入	4,243	8,700
有形固定資産の除却による支出	8,242	-
無形固定資産の取得による支出	120	330
貸付けによる支出	33,310	25,917
貸付金の回収による収入	35,927	65,191
その他	299	3,573
投資活動によるキャッシュ・フロー	257,709	143,214
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,200,251	50,000
長期借入れによる収入	-	5,000
長期借入金の返済による支出	144,364	126,878
社債の償還による支出	50,000	50,000
配当金の支払額	39,419	126,829
その他	13,635	10,173
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,447,670	358,881
現金及び現金同等物に係る換算差額	599	530
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	695,865	936,125
現金及び現金同等物の期首残高	3,662,375	3,846,702
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	3,644
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 4,358,241	¹ 4,779,184

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間より、連結子会社でありました大連佐東奥瀝青有限公司は、当社持分の譲渡契約を締結したため、同社を連結の範囲から除外しております。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
税金費用の計算 当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 その他のたな卸資産の内訳

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
販売用不動産	8,521千円	8,521千円
材料貯蔵品	224,000	236,461

(四半期連結損益計算書関係)

- 1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
従業員給与手当	378,375千円	378,191千円
賞与引当金繰入額	52,358	67,478
退職給付引当金繰入額	29,469	26,886
貸倒引当金繰入額	22,099	
減価償却費	18,416	17,901

- 2 売上高の季節的変動

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である建設事業において、契約により工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における売上高に比べ、第4四半期連結会計期間の売上高が著しく多くなるといった季節的変動があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に記載されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金預金勘定	4,358,241千円	4,779,184千円
現金及び現金同等物	4,358,241	4,779,184

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	39	2.5	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	127	8.0	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)及び当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

当社グループは、建設事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	18円22銭	2円70銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	290,688	43,155
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	290,688	43,155
普通株式の期中平均株式数(千株)	15,957	15,956

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月8日

株式会社佐藤渡辺
取締役会 御中

太陽A S G有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 桐 川 聡 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 大 矢 昇 太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社佐藤渡辺の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社佐藤渡辺及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。